

環境研・弘前大学・福島大学・京都府立大学 若手研究者合同セミナー

青森県六ヶ所村では大型再処理施設の本格操業が間近に迫っており、環境研では当該施設稼働に伴う様々な排出放射性物質の環境中での挙動や、低線量・低線量率の放射線による人や動物への影響についての先駆的な研究が進められ、科学的な知見が積み重ねられています。一方で、このような研究は環境研1機関だけで完結できるものではなく、関連機関の協力・共同による総合的な推進と情報発信が不可欠です。さらに、今後継続的に実施していくためには、次の時代を担う修士・博士課程の学生や若手研究者の育成が必要です。

本セミナーは、環境放射能研究を精力的に実施している大学の研究者と、これまでに培ってきた青森における環境放射能研究の成果を共有し、今後展開される新たな研究の一助にすることを目的に開催いたします。加えて、若手研究者の意見交換の場として、活発な議論を期待します。

基調講演 (13:05 ~ 13:45)

原子力災害における 弘前大学の取り組み

弘前大学被ばく医療総合研究所長 教授

床次真司氏



床次真司(とこなみ・しんじ)教授は、「放射線防護」と「線量評価」のプロフェッショナル。2011年の福島第一原子力発電所の事故時には、いち早く避難した住民の甲状腺被ばくの調査を行った。「後進を育てること」を何より大切にする床次氏の研究室には、放射線の専門知識を学ぶことを目的に、アフリカやアジアの国々からも留学生が集う。

若手研究者 環境研 4課題、弘前大学 4課題、福島大学 6課題、京都府立大学 3課題

日時 12月 9日(木) 13:00~16:45
12月10日(金) 9:30~12:00

場所 六ヶ所村文化交流プラザ スワニー 大会議室

お申込先 (お名前、ご連絡先をお知らせください)

(公財)環境科学技術研究所 総務部企画・広報課

TEL.0175-71-1240 FAX.0175-71-1270

〒039-3212 上北郡六ヶ所村尾駱家ノ前 1-7

ホームページ <http://www.ies.or.jp/> 電子メール kanken@ies.or.jp

コロナウィルス感染症対策について

- ・事前に参加登録をして頂くようご協力をお願いいたします。
- ・会場ではマスク着用、手指の消毒につきましてご協力をお願いします。
- ・感染状況により中止する場合がございます。



第2回若手研究者合同セミナー プログラム

12月9日(木) 13:00 ~ 16:45

13:00- 13:05 開会のあいさつ

第一部 基調講演

13:05-13:45 原子力災害における弘前大学の取組 弘前大学被ばく医療総合研究所長 教授 床次 眞司

第二部 若手発表①

- 13:45- 14:00 植物の Cs 経根吸収に対する Ca の抑制効果 (環境研)木花 将
14:00- 14:15 Estimation of rooting depth of ¹³⁷Cs uptake by plants (福島大 D3)Nguyen Phuong Thoa
14:15- 14:30 落葉果樹における同化炭素の樹体内への蓄積と翌春における利用 (環境研)今田 省吾
14:30- 14:45 避難指示解除区域における自家消費作物の放射性セシウムと内部被ばく線量(福島大 M2)菊池 美保子
- 14:45-15:00 休憩 -----
- 15:00- 15:15 ヘパリン血中の血球動態と血算による生物学的線量評価への影響 (弘前大 D1)中山 亮
15:15- 15:30 細胞遺伝学的線量評価における限られた細胞資源の有効活用 (弘前大 M1)竹林 花依
15:30- 15:45 高感度検出系を用いた低濃度トリチウム水による体細胞突然変異体の解析 (環境研)長島 明輝
- 15:45- 16:00 黄砂起源鉱物による黒ボク土の肥沃度機能改変効果の解明 (京都府大 UG4)仲田 慎治
16:00- 16:15 東北地方の黒ボク土に含まれる雲母量の規定要因の解明 (京都府大 M2)北川 結理
16:15- 16:30 2019 年の台風後の氾濫堆積物における放射性セシウム汚染が除染済み農耕地土壌に及ぼす影響 (京都府大 M2)浅野 育美
16:30- 16:45 福島県浜通りにおける放射線分布画像の測定解析 (福島大 M1)河原 梨花

12月10日(金) 9:30 ~ 12:00

特別レクチャー①

9:30- 9:50 トリチウムの線量係数 ―環境科学技術研究所での調査と ICRP の動向― (環境研)増田 毅

特別レクチャー②

9:50-10:10 低線量率放射線被ばくにより起こること (環境研)小村 潤一郎

----- 10:10-10:25 休憩 -----

第二部 若手発表②

- 10:25- 10:40 Heavy Metal Assessments of Soil Samples from a High Natural Background Radiation Area, Indonesia (弘前大 D2)Nugraha Eka Djatnika
10:40- 10:55 Total chemical characterization and uranium isotopic studies of a high background radiation area soils in India (環境研)Veerasamy Nimelan
10:55- 11:10 Monte Carlo Simulation of NaI detector response for airborne monitoring (福島大)Sam Koh Boon Kiat
11:10- 11:25 Radon Thoron and their progeny exposure system at Hirosaki University (弘前大 ASST)Kranrod Chutima
11:25- 11:40 都市ため池における除染後の ¹³⁷Cs 動態 (福島大 M2)黒澤 萌香
11:40- 11:55 福島県の 2 河川流域における高濃度放射性セシウム含有微粒子の流出 (福島大 PD)辰野 宇大
11:55- 12:00 閉会のあいさつ

【基調講演】 発表 35 分、質疑応答 5 分
【特別レクチャー】 発表 15 分、質疑応答 5 分
【一般講演】 発表 12 分、質疑応答 3 分

* プログラムが変更される場合があります。

お申込み

ファックス : 0175-71-1270
メール : kanken@ies.or.jp

・収集した個人情報は、当セミナーの運営、コロナウィルス感染症などが発生した場合に連絡をさせて頂くための情報としてのみ、使用させていただきます。

申込者氏名	
人数	
ご所属	
連絡先	